



<http://www.sappororo.hokkaido-c.ed.jp/>

学校通信 第11号

令和5年(2023年)1月27日発行

発行人 北海道札幌聾学校

校長 四木 定宏

TEL 011-716-2979

FAX 011-758-7617

HPはこちらです↓



教員の働き方

教頭 宇野 宏之祐

明けましておめでとうございます。保護者の皆様はもとより関係者や地域の皆様におかれましては、新年も引き続き、本校の教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて学校現場では、皆様ご承知のとおり「年度」という制度に基づき教育活動を進めていることから、年が明けても3月までは同じ「年度」が継続されることとなります。「年度」最後の3ヶ月間は、1年間の教育活動のまとめとして、これまでの学習を振り返ったり評価したり、新たな年度に向けた準備を行ったりすることから、学校にとっては1年間で最も忙しい時期となります。民間の中にも、3月決算を用いている事業者や、人事異動を「年度」の区切りで行う事業者もありますが、年度末の学校現場は、普段以上の慌たじさが漂う独特な雰囲気があるように思います。

我が国の学校現場の状況として、この年度末に関わらず1年を通じて、調査参加国の中で教員の勤務時間が最長であることが、OECD(経済協力開発機構)が実施した調査(TALIS,2018)によって明らかにされており、「子どものためであれば」と頑張る献身的な姿勢と、一人一人の教師の業務負担に支えられていることが国の会議でも指摘されています。さらには、教員のベテラン層の退職や教員のなり手不足などの課題などから、「教師不足」の状況が現職の教員の多忙感を加速させています。こうした我が国の学校が抱える課題は、本校の状況とも多くが重なるように感じています。

例えば、教職員の勤務時間は、休憩時間を除き、1週間38時間45分、1日7時間45分と定められています。本校の場合は、先生たちの勤務時間を8時20分から16時50分まで、休憩時間を15時45分から16時30分までと規定しています。休憩時間が昼に設定されていないのは、給食時間や昼休みも担当する子どもに対する指導的な関わりが必要であることや、家庭への連絡帳への記入、教材の準備等があるため、物理的に休憩が取れないためです。そこで先生は子どもが下校した後に休憩をとるようにしています。先生の多くは、7時間45分の勤務時間で仕事を終わらせることは難しく、朝の7時過ぎに出勤し仕事をしている先生や夜の7時頃まで残って次の日の準備や教材作りをしている先生もいます。また、会議は子どもが帰ってから行うことが多くなりますので、設定された休憩時間の中で休憩が取れない場合もあります。現在、先生の勤怠管理は機械管理で行っていますが、実質的に長時間労働が常態化している本校の現状に頭を悩ませています。

また、教員は教育公務員ですので、規定の勤務時間を超過して働いても、「残業代」等が支給されることはありませんし、いくら働いても給料に上乗せされるわけでもありません。プライベートを削りながら働いている先生も多くいますが、他の先生の負担をさらに増やしてしまうなどの理由から、なかなかお休みがとれない先生も多いようです。

更には、先生の中には、手話技術などの専門性向上に向けた自己研修をプライベートの時間を割いて行っている者も多いことから、先生が子どものために割いている時間は、実質的にはさらに多くなると思います。まさに本校の現状は、先生による「献身的な姿勢」に支えられていると言えるでしょう。ですがこの状況は、持続可能性という意味においても、薄氷を踏んでいるような状態であり、解決していかななくてはならないとても悩ましい状況であると感じているところです。

そんな中、本校のある男性教員が育児休暇を取得した時期があったのですが、当該教員が担当している学級の保護者から、「男性教員も育児休暇を取得することができるこの学校は、(他の教員の理解や協力体制が得られている)良い職場ですね」という言葉を頂きました。きっとこうした背景には、保護者の理解はもとより、当該教員の平素からの働きぶりを踏まえた他の先生からの理解、そしてこうした良い雰囲気の中で醸成された先生間の協力体制が保護者にも伝わっていたからではないかと思います。

今年度、遅ればせながらですが、校内に「働き方改革プロジェクト委員会」が立ち上がり、教職員の働き方改革に向けた取組がようやく始動することとなりました。教職員が心身の健康を損なうことなく、子どもへの教育に邁進できるよう、学校全体としても考えていきたいと思っています。保護者の皆様はもとより、関係者や地域の皆様からも、良いアイデアがあればお寄せください。

先日開催しました、令和5年度「コミュニケーション手段に係る意向に関する調査」説明会にご出席いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

本校は今後も、本人や保護者の教育的ニーズに基づき、一人一人に応じたきめ細かな指導を充実させることを第一に考え、クラス編制を行い学習指導等の充実を図っていきたいと考えています。ご理解いただきますよう、お願いいたします。

冬休み作品展

幼稚部玄関で「冬休み作品展」を行っています。冬休み中に各家庭で取り組んだかわいい作品が並んでいます。写真で紹介します。



授業参観・個別懇談週間のお知らせ

1 授業参観日程

(1) 2月1日(水)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1) 幼稚部 | 13:20-14:00 (所属学級) |
| 2) 小学部 1年生・2年生 | 5校時の授業 13:20-14:05 (所属学級) |
| 3) 小学部 3年生・4年生・5年生・6年生 | 6校時の授業 14:15-15:00 (所属学級) |
| 4) 中学部 | 6校時の授業 14:20-15:10 (所属学級) |

(2) 密を避けるため、各家庭2名の参加をお願いします。

(3) 学級により、密を避けるため、授業を行う教室の変更や zoom 視聴との入れ替えの場合があります。

(4) 校舎内では保護者は幼稚部玄関・小学部玄関・中学部児童玄関から出入りし、学校のスリッパを利用してください。
また、当日は健康観察表の提出にご協力ください。

2 個別懇談週間日程

幼稚部 2月27日(月)～3月6日(月)

小学部 2月27日(月)～3月3日(金)

令和4年度幼稚部修了式、令和4年度小・中学部卒業式のお知らせ

幼稚部第58回修了式

- ・日時 令和5年3月15日(木) 9時45分～10時15分
- ・場所 幼稚部プレイホール

小学部第71回卒業式

- ・日時 令和5年3月17日(金) 10時～10時40分
- ・場所 本校 体育館

中学部第69回卒業式

- ・日時 令和5年3月16日(木) 10時～11時
- ・場所 本校 体育館



2月予定表

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1日(水) 参観日 | 17日(金) 学校公開(9:40～11:30) |
| 2日(木) 校外学習(小3-1・2) 節分(舎) | 数学・算数検定 |
| 3日(金) まめまき(幼) 入学説明会(中) | 19日(日) 英語検定(2次試験) |
| 6日(月) 朝会・生徒総会(中) | 21日(月) 友和会(舎) |
| 冬期集団下校訓練 | 22日(水) 誕生会(幼) |
| 9日(木) 冬の遠足(幼) | 安全を守る指導(中) |
| 10日(金) 漢字検定 | 23日(木) 天皇誕生日 |
| 11日(土) 建国記念の日 | 24日(金) スキー学習(小・中) |
| 14日(火) 2計測(幼) | 27日(月) 生徒会役員選挙(中) |
| 後期期末テスト(中1・2) | 個人懇談週間 |
| 15日(水) 1日入学(幼・小) 入学説明会(小) | (幼～3月6日 小・中～3月3日) |
| 高聳合格発表 | 28日(火) 卒業式練習(中) |
| 16日(木) 5時間目終了後下校 | |
| (～14:30) | |